

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
株式会社HSFarm	常時7名、臨時7名	静岡県浜松市	経営統合による農業経営の法人化	専門家派遣回数 2回

相談内容・現状課題

■相談内容

相談者は、露地野菜を主とする倉田農園と施設野菜の村松農園で、お互いの技術や設備等を提供し、効率的に規模拡大・多角化を進めるために経営統合し新たな法人の設立すること、設立後の経営計画について相談。



■現状課題等

- 倉田農園と村松農園の代表者がお互いの経営を語るうちに経営統合するとお互いの弱みを補い、効率的な規模拡大が可能と結論。特に従業員確保が課題で、周年で雇用する必要があった。
- 経営統合するにあたり、税務、会計、資産の扱い、役割分担等について専門家の支援が必要。
- 相談者の倉田農園は、露地野菜30aと施設野菜20a、村松農園は、露地野菜2haと施設野菜40aの経営を行っており、規模拡大意欲はあるが、機械・施設の整備、従業員確保等が課題。

支援体制・改善提案 (問題解決方法)

■支援内容

1 支援チームの編成

JA, 税理士、普及指導員 計4名

2 支援内容

(1)税理士による法人設立支援

- 法人化までに必要な課題の整理
- 未収穫農産物の原価計算、農業機械等の評価方法
- 法人の会計期間の設定
- 経営統合・法人化後の資金計画の作成指導

(2)規模拡大に向けた支援

- 補助金活用によるトラクター等の整備の検討
- 農地集積についての意向確認
- 従業員の作業効率の改善、省力化体系の確立

(3)普及指導員の支援

今後、更なる経営規模の拡大を図るためには、栽培部門を任せられる、農場長的な社員を育成する必要があるため、社員教育についても支援していく。



支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

相談者は、経営統合と法人化を検討していたが、どうすれば良いか分からず躊躇していた。

今回、税理士等による丁寧な説明により、法人化後の収支や出資額、給与、法人設立の手続きなどが明確化されたため不安が払拭され、法人化に至った。

経営統合のメリットは、トラクターなどの機械投資が軽減されたこと、さらに今後は、露地野菜部門と施設野菜部門の人員配置についても、両部門の繁閑を考慮して労力配分することで、労力不足に対応する。

また、倉田農園、村松農園のそれぞれの強みを活かし、施設野菜と露地野菜の両方を学べる環境にあるため、研修生の受入れや新規就農者の支援なども検討していきたい。

■コーディネーター所感

相談者は2人の経営者で経営を統合する事例が少なく、解決すべき懸案事項が多かったが、税理士による経営収支のシミュレーション等の指導により、課題解決を図ることができた。また、専門家以外に農協の担当者も加わり検討を進めたことが円滑な法人設立につながった。

今後は、支援チームが主体となって、技術・経営支援を行うとともに、規模拡大についても支援し、地域のモデル的な経営体となるように支援を継続する。